### be 動詞·一般動詞

- (1) vegetables is
- (2) were, friends
- (3) Are, a, I am
- (4) Was, it wasn't
- (5) likes
- (6) played
- (7) studied
- (8) read an
- (9) **Do, I do**
- (10) Did, he didn't

- (1) *one of +*複数名詞〉は単数あつかいする。
- (2) 主語が複数なので be 動詞は were を使い、名詞も複数形
- (3) 主語が you なので be 動詞は are を使う。soccer fan は名 詞だから、前にaが必要。Iを使って答える。
- (4) 主語が単数なので be 動詞は was を使う。it を使って答える。
- (5) 主語が3人称単数で現在の文なので、一般動詞には3単現 のSをつける。
- (6) play は ed を加えて過去形にする。
- (7) study は y を ied にして過去形にする。
- (8) read は不規則動詞で、過去形は read (発音は [red])。 interesting book の前には an が必要。
- (9) 主語が you なので、一般動詞・現在の疑問文は Do you ~? を使う。Iと do を使って答える。
- (10) 一般動詞・過去の疑問文は  $Did S \sim ?$  を使う。 $he \ be \ did$ を使って答える。

### 疑問詞で始まる疑問文・命令文 2 ・感嘆文・間接疑問など

- (1) What kind of
- (2) How was
- (3) What, like
- (4) about going
- (5) **Don't be**
- (6) Let's, shall
- (7) What a
- (8) who she is
- (9) Who, think she is
- (10) Didn't you, No, didn't

#### 解説

- (1) What kind of ~? = どんな種類の~。
- (2) How is S? = S はどんな具合「様子」ですか。
- (3) What is S like? = S はどのようなもの [人] ですか。
- (5) 〈Be +形容詞〉の命令文に、Don't と please を加えた形。
- (6) Let's  $\sim$ , shall we? = (いっしょに)  $\sim$ しませんか。付加 疑問の一種。
- (7) 後ろに名詞があるときは what を使って感嘆文をつくる。
- (8) Who is she? を間接疑問にした形。
- (9)「だれか」をたずねる文なので、who を do you think の前 に置く。
- (10) 否定疑問文は主語の前に「~n't」の形を置く。返答の内容 が否定的なら No を使う。

# 進行形・未来を表す形

- (1) is doing
- (2) wasn't studying
- (3) was sleeping
- (4) were you doing
- (5) will stop
- (6) won't buy
- (7) are going to
- (8) Are you going, am
- (9) Will, be, won't
- (10) was about to

### 解説

- (1) 現在進行形は〈is/am/are + -ing〉の形。
- (2) 過去進行形は〈was/were + -ing〉の形。否定文は be 動 詞の後ろに not を加えてつくる。
- (3) 過去進行形は〈was/were + -ing〉の形。
- (4) What の後に過去進行形の疑問文を続ける。疑問文は be 動詞を主語の前に出してつくる。
- (5) 未来のことは、〈will +動詞の原形〉で表す。
- (6) will の否定文は will の後ろに not を加えてつくる。will not
- (7) あらかじめ決まっていた予定は、〈be going to +動詞の原 形〉で表す。
- (8) be going to の疑問文は be 動詞と S を入れかえてつくる。 答えるときは be 動詞を使う。
- (9) will の疑問文はSと will を入れかえてつくる。答えるとき は will を使う。
- (10) be about to do =今にも~しそうだ

# 現在完了形・現在完了進行形

- (1) have already
- (2) has just
- (3) Have you, yet
- (4) Have, ever seen[watched], have
- (5) never been
- (6) been, for
- (7) has been, since (8) second time, read
- (9) long have, been, For
- (10) had, left

#### 解説

- (1) 完了・結果を表す現在完了形。already は have/has と過 去分詞の間に置く。
- (2) 完了・結果を表す現在完了形。just は have/has と過去分 詞の間に置く。
- (3) 現在完了形の疑問文は、have/has とSを入れかえてつく る。No, not yet. = いいえ、まだです。
- (4) 経験を表す現在完了形の疑問文では、ever「今までに」を よく使う。
- (5) S have/has been to  $\sim$  = S は $\sim$ へ行ったことがある。「一 度も~ない」は never で表す。
- (6) 状態の継続を表す現在完了形。期間の長さを表すことばの 前では for を使う。
- (7) 現在完了進行形。過去のある時点を表すことばの前では

since を使う。

- (8) This is the X【序数詞】time S have/has (ever) 過去分 詞. = Sが $\sim$ するのはこれがX回めだ。
- (9) How long  $\sim$ ? = どのくらい長く $\sim$ 。
- (10) 過去のある時点ですでに完了していたことは、過去完了形 〈had + 過去分詞〉で表す。

# 助動詞・仮定法・話法・時制の一致

- (1) May[Can] I
- (2) may[might] be able
- (3) Do, have to, don't
- (4) Shall I
- (5) like to
- (6) shouldn't have eaten
- (7) used to
- (8) were, could
- (9) **were**
- (10) told, his, was

### 解説

- (1) Can[May]  $I \sim ? = \sim$ してもいいですか。 may を使うほう がていねいな言い方。
- (2) may[might] be able to  $do = \sim t$  and t able to t
- (3) Do I have to do? =  $\sim$  L  $\alpha$  必要はない」は don't have to do なので、ここでは don't を使う。
- (4) Shall  $I \sim ? = \sim$ しましょうか。持ってくるのは「私」な ので、Ⅰを使う。
- (5) I'd[I would] like to do =~したい。I want to do を和ら げた言い方。
- (6) shouldn't have +過去分詞=~すべきではなかった(のに そうしてしまった)
- (7) used to do =以前は~だった
- (8) if を使った仮定法過去の文では if 節で動詞の過去形、主節 で would/could/might を使う。if 節中の be 動詞は、主語 が何であっても were を使うのが原則。
- (9) I wish +仮定法過去=~ならいいのに。be 動詞は、主語 が何であっても were を使うのが原則。
- (10) 「言った」told との時制の一致で、that 節内では was を使 う。「自分の父親」=「彼の父親」

# 文型・動詞

- (1) show me
- (2) lent, to
- (3) **seem**
- (4) fell asleep
- (5) made him
- (6) call
- (7) look[seem]
- (8) found
- (9) Is there, there isn't[there's not]
- (10) There were, waiting

### 解説

- (1) show +  $O_1$  +  $O_2$  =  $O_1$  に  $O_2$  を見せる
- (2) lend +  $O_1$  +  $O_2$  = lend +  $O_2$  + to +  $O_1$  =  $O_1$  c  $O_2$  e
- (3) seem to be C = C であるように思われる
- (4) fall asleep = 眠りこむ、居眠りする
- (5) make + O + C = O & C にする
- (6) call + O + C = OをCとよぶ
- (7) look[seem] + C = C に見える
- (9) There 構文の疑問文は、there の前に be 動詞を置く。答え るときは there と be 動詞を使う。
- (10) Many people are waiting ~を There 構文にした形。

### 受動態

- (1) is used
- (2) was, made
- (3) won't be changed (4) interested in
- (5) is known to
- (6) was spoken[talked] to
- (7) was given
- (8) is called
- (9) was asked to
- (10) was seen to

### 解説

- (1) 受動態は、〈be 動詞+過去分詞〉の形で表す。
- (2) Where の後ろに受動態の疑問文を続ける。疑問文は、be 動詞とSを入れかえてつくる。
- (3) 助動詞の後ろに受動態を置くときは、〈be +過去分詞〉の 形にする。
- (4) be interested in ~= 〈人が〉~に興味を引かれる
- (5) be known to ~=~に知られている
- (6) speak[talk] to  $\sim$  ( $\sim$ に話しかける) を1つの動詞と考える。
- (7) Someone gave the man a lot of money. の下線部を主 語にした受動態。
- (8) Someone calls this cat Kuro. の下線部を主語にした受動
- (9) Someone asked her to make a speech  $\sim$  . の下線部を 主語にした受動態。
- (10) Someone saw him come out of ~. の下線部を主語に した受動態。原形不定詞(come)に to を加える。

# 不定詞

- (1) It is, for
- (2) is to
- (3) to, to
- (4) order to
- (5) **too**, **to**
- (6) easy enough for
- (7) want, to buy
- (8) makes us
- (9) **Let me**
- (10) how to make[cook]

#### 解説

- (1) 形式主語 it で始めて、後ろに真主語の不定詞を置く。「A に とって、Aが」は不定詞の前にfor Aを置いて表す。
- (2) S is C. の C として不定詞を使った文。
- (3) to go は形容詞的用法、to study は目的を表す副詞的用法 の不定詞。
- (4) in order to  $do = \sim \tau \delta \hbar \delta \kappa$
- (5) too 形容詞・副詞 to do = …するには~すぎる
- (6) 形容詞・副詞 enough (for A) to do = (Aが) ~できるほ ど(十分)…
- (7) want O to do = O  $\mathbb{C} \sim \mathsf{LT} \mathsf{EL} \mathsf{L} \mathsf{L}$
- (8) make  $O do = O k \sim 3$
- (9) let me know = 私に知らせる
- (10) how to do =どのようにして $\sim$ すべきか、 $\sim$ する方法

### 動名詞

- (1) is taking
- (2) without saying
- (3) by using
- (4) forgot to
- (5) to, coming
- (6) to using
- (7) There, no
- (8) help feeling
- (9) use trying
- (10) spent, playing

#### 解説

- (1) S is C. の C が動名詞句。
- (2) without  $-ing = \sim l t t$
- (3) by  $-ing = \sim t$  3
- (4) forget to do = ~ し忘れる
- (5) look forward to -ing = ~ するのを楽しみに待つ。動名詞 の前に意味上の主語 you が置かれている。
- (6) be used to  $-ing = \sim$  することに慣れている
- (8) can't[cannot] help -ing =  $\sim$  L  $\alpha$  L
- (9) It is no use -ing. =  $\sim$  L  $\tau$   $\circ$  to  $\tau$  to  $\tau$  to  $\tau$ うとする
- (10) spend O -ing =~して O〈時間〉を過ごす

# 分詞

- (1) developing
- (2) developed
- (3) playing, are
- (4) made in
- (5) sold, are
- (6) named[called]
- (7) kept working
- (8) heard, calling
- (9) you waiting
- (10) had, taken

### 解説

- (1) 現在分詞 + A = ~ しつつある A
- (2) 過去分詞 + A = ~ し終えている A
- (3) A +現在分詞句=~しつつある A。主語(The boys) は複 数。

- (4) A + 過去分詞句 = ~ され(てい)る[された] A
- (5) A + 過去分詞句 = ~ され (てい) る [された] A。主語 (The vegetables)は複数。
- (6) A named[called] B = Bという名のA
- (7) keep (on) -ing =~し続ける
- (8) hear + O + -ing = O が~しているのが聞こえる
- (10) have + O + 過去分詞 = O を~してもらう

### 関係詞

- (1) which[that]
- (2) who[that], is
- (3) we saw[watched] (4) whose
- (5) in which
- (6) the way
- (7) what
- (8) what is
- (9) where
- (10) when

#### 解説

- (1) It sells ~から考えて、主格の関係代名詞 which[that] を使 う。
- (2) He[She] painted ~から考えて、主格の関係代名詞 who [that] を使う。picture までが主語。
- (3) 目的格の関係代名詞(which[that])が省略された形。
- (4) His[Her] father is ~から考えて、所有格の関係代名詞 whose を使う。
- (5) A famous musician was born in it. の下線部を in which で置きかえた文。
- (6) the way S V = S が V する方法 [様子]
- (7) what = the thing which[that] =  $\sim$  + 3
- (8) what is called A = いわゆる A。 直訳は「A とよばれるもの」。
- (9) We had dinner there yesterday. から考えて、関係副詞 where を使う。at[in] which で言いかえられる。
- (10) It snows a lot here then. から考えて、関係副詞 when を 使う。in which で言いかえられる。

# 比較

- (1) as tall as
- (2) as well as
- (3) more, than
- (4) the tallest players
- (5) best, of
- (6) a little more
- (7) any other
- (8) Nothing, as
- (9) as, as possible
- (10) second highest[tallest]

### 解説

- (1) as ~ as ... = … と同じくらい~
- (2) not as  $\sim$  as ... =  $\cdots$  ほど $\sim$ ではない
- (3) 比較級 + than ... = … よりも~だ。difficult は前に more を置いて比較級にする。
- (4) one of the + 最上級 + 名詞の複数形 = もっとも~な…のう

ちの1つ

- (5) good の最上級は best。複数のものを表す名詞・代名詞の 前では of を使う。
- (6) much の比較級は more。a little = もう少し
- (7) 比較級 + than any other + 単数名詞 = ほかのどの…より も $\sim$
- (8) Nothing is as  $\sim$  as .... =  $\cdots$  ほど $\sim$  なものはない。
- (9) as ~ as possible = できるだけ~
- (10) the second + 最上級 = 2番めに~

# 13 名詞・冠詞・代名詞

(1) children

(2) a cup of

(3) pairs of

(4) Cats are animals

(5) **an[one], a** 

(6) is it, It's

(7) It was, that

(8) took me

(9) long before

(10) that of

### 解説

- (1) child の複数形は children。
- (2) a cup of  $\sim$  = 1杯の $\sim$
- (3) a pair of glasses = 1 つのめがね。「2つ」なのでa pair を pairs と複数形にする。
- (4)「〇〇一般」は、無冠詞の名詞(可算名詞なら複数形)で表す。
- (5) hour oh は子音字だが、母音で始まるので an をつける。  $a=\sim$ につき
- (6) 時刻・天候・寒暖・明暗・距離などは、it を主語にして表す。
- (7) 形式主語 it で始めて、後ろに真主語の that 節を置く。
- (8) it takes (人) 時間 to *do* = (人が) ~するのに… (の時間が) かかる
- (9) It won't[will not] be long before ~ . =まもなく[すぐに] ~だろう.
- (10) 同じ名詞のくり返しを避けるために使う that。that of Japan = the culture of Japan

# 14 形容詞・副詞

- (1) carefully
- (2) **any**
- (3) Any[Every]
- (4) wrong with
- (5) **but**
- (6) Every, has
- (7) **in, for**
- (8) number of
- (9) often comes
- (10) **even**

### 解説

- (1) carefully = 注意深く
- (2) not + any  $\sim$  = no  $\sim$  = 1  $\supset$  5 [Ent.]  $\sim$  5  $\sim$  5
- (3) 肯定文中の any は「どんな~でも」の意味を表す。
- (4) Something is wrong with  $\sim$ . = $\sim$ の具合が悪い。
- (5) nothing but  $\sim = \sim$ 以外の何も…ない、 $\sim$ だけ(にすぎない)

- (6) 後ろには単数の名詞があるので、every を使う。動詞は単数で受ける。
- (7) be in time for ~=~に間に合う
- (8) a large number of  $\sim$  = たくさん (の数) の $\sim$
- (9) often などの頻度を表す副詞は、一般動詞の前に置く。
- (10) even = ~ さえ。(例外的に) 名詞を修飾する副詞の例。

### 15 接続詞

- (1) and
- (2) is that
- (3) **if**
- (4) ten minutes after
- (5) **while**
- (6) because[as, since]
- (7) as
- (8) Neither, nor
- (9) **but**
- (10) **so, that**

### 解説

- (1) 命令文, and ~=…しなさい、そうすれば~
- (2) S is C. の C が that 節。
- (3) if  $= \sim h \mathcal{E} j h$
- (4) 時間差を表す語句は、before や after の前に置く。
- (5) while (S be 動詞) -ing =~する間
- (6) 理由は because[as, since] で表す。
- (7) leave O as it is[they are] = O をそのままにしておく
- (8) neither A nor B = A  $\bullet$  B  $\bullet$   $\lor$  5  $\circ$   $\bullet$   $\sim$   $\diamond$   $\diamond$
- (9) not A but  $B = A \sigma x < B$
- (10) so ~ that ... = とても~なので…

# 16 前置詞

- (1) **at, at, on**
- (2) during
- (3) **in, of, for**
- (4) on, way home
- (5) to
- (6) because of [due to]
- (7) instead of
- (8) put off
- (9) my brother with[do]
- (10) **me of**

#### 解説

- (1) 場所の「1点」や時刻にはat、曜日にはonをつける。
- (2) during =~の間に
- (3) in front of  $\sim = \sim$ の前に、for the first time = 初めて
- (4) on one's way home from ~=~から帰る途中で
- (5) according to  $\sim = \sim \text{clhif}$
- (6) because of[due to]  $\sim$ = $\sim$  (という理由) のために
- (7) instead of  $\sim = \sim$ の代わりに
- (8) put off = 延期する
- (9) help A with B = A [人] の B を手伝う
- (10) remind A of B = A [人] に B を思い出させる